

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

園長室だより



城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成29年11月30日

『小学校につながる確かな学びの基礎を培う』幼稚園

作品展 いかがでしたか？



錦秋の候、いよいよ、実りの秋本番です。

11月26日(日)作品展には、大勢お越しいただきありがとうございました。

今年は、事前に製作・絵画活動の一部を参観していただく機会を設けました。出来上がりだけでなく、作品展までのプロセスでどのような力が育っていくかについて理解を深めていただくためです。

特に、幼児期には体験をもとにイメージを表現することを存分に楽しむことを大切にしています。

一部ご紹介しましょう。

3歳児：かたつむりがご飯食べているところ



画面いっぱいぐるぐるとのびやかに腕を動かして表現しています。ご飯を見つめている目玉が迫力満点です。面白い！

4歳児：芋ほりに行きました。自分より芋が大きく



表現されています。友達も登場し、みんなで大きなお芋に大喜びしていることが伝わってきますね。

5歳児：芋ほりです。同じ体験をしても、視野が広



がり、手足の動きも細やかに表現できるようになります。遠近感を使って場面をのびのびと表現しています。描き込む集中力と仕上げ

る根気強さがぐんと伸びる時期でもあります。

幼児期に育てたい「想像力」と「創造力」

幼児期に育てたい力は多々ありますが、その中で想像力と創造力をご紹介します。想像力は、

これまでの経験をもとに、イメージする力です。例えば、「いちご」と聞いたとき、食べた味や色、その時のエピソードなどを取り出し、新たな「いちご」を表現する力です。「創造力」は、字の如く、創り出す力です。例えば、年長組の子どもたちがチャレンジした『55人の探検隊』は、想像力をもとに、次々に子どもたちがアイデアを出し合っ



て、オリジナルなお話を創りだすのです。本園では年少児から、「振り返り」活動に取り組み、自分が気付いたことや思ったことなどを表出する活動をしています。ですから、5歳児になると、どんな方法がよかったのか、どうしていくとうまくいくのかななどを子どもたちが見つけ出していきようになります。子どもの発想力は豊かで大人も驚くものばかりです。これまでの保育や経験により着実に子どもたちの内面に「学びの基礎」となる力が育っているのです。



いつも幼稚園のために

ありがとうございます。

保護者会会長 松岡雅司様が、大阪市私立幼稚園連盟から感謝状を贈呈されました。



子どもたちのためならと、優しい笑顔を添えていつも惜しみないご支援をくださ

っています。保護者の皆さまとともに、松岡会長様に感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。これからもよろしく願いいたします。